



木造阿彌陀如來坐像
(重要文化財)

特別展

長樂寺の至宝

平成29年10月21日(土)～平成30年12月2日(日)

会場／おおい町立郷土史料館 1階企画展示室

入場無料

開館時間／午前9時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

休館日／毎週月曜日(休日の場合はその翌日)、国民の祝日の翌日、毎月第4木曜日、12月28日～1月4日
*臨時休館の場合あり

特別展 長楽寺の至宝

慶松山長楽寺(おおい町大島)の創建年代は定かではありませんが、室町時代中期、僧賢海により中興、六坊を擁した大寺となり繁栄しました。その後は、天文年中(1532～1555)に賊兵に襲われ衰退、江戸時代初期に僧栄住と小浜藩主酒井家により再興されましたが、現在では阿弥陀堂一棟と本尊などが残るのみとなっています。

本尊の木造阿弥陀如来坐像(重要文化財)は平安時代の作で、丈六の大像でありおおい町内で最も大きな彫刻仏です。また、同寺代に制作された木造多聞天立像(重要文化財)や木造延命地藏尊像(おおい町指定有形文化財)など多数の彫刻物を有しており、大島半島を代表する寺院です。

現在は文化財収蔵庫に安置されていますが、収蔵庫の改修工事に伴い、工事期間中、当館で展示することとなりました。今回の特別展では、長楽寺が所蔵する文化財を一堂に展示し、長楽寺の歴史についてご紹介します。



木造多聞天立像(重要文化財)



木造延命地藏尊像
(おおい町指定有形文化財)



木造観音菩薩立像
(おおい町指定有形文化財)



おおい町立郷土史料館
松木庄吉美術記念館

〒919-2104 福井県大飯郡おおい町成和 2-1-1
TEL.0770-77-2820 FAX.0770-77-2821
■ JR小浜線、若狭本郷駅下車、徒歩約15分

